

医師・医療職等 負担軽減プラン（2021.4-2023.3）**【外来診療の適正化】**

- ・ 逆紹介の推進、外来縮小
- ・ 午後初診を救急外来で対応（内科・外科・整形外科・脳神経外科）

【医師事務作業補助者の活用】

- ・ 電子カルテの代行入力
- ・ サマリー（退院時要約）の代行入力
- ・ 診断書等の代行入力

【看護補助者の活用】

- ・ 看護師、助産師からの業務移管
- ・ 看護補助員の充実
- ・ 看護補助員の夜勤

【事務職員の活用】

- ・ 専門業務経験者の採用
- ・ 障害者雇用促進による事務職員の補佐
- ・ デジタル化推進に伴う業務軽減

【業務分担】

- ・ 看護師による初診時の予診（救急外来におけるトリアージ含む）
- ・ 助産師外来
- ・ 検査技師による外来採血
- ・ 看護師、事務員による入院事前説明（入退院支援センター）
- ・ 薬剤師による入院患者の持参薬確認（同上）
- ・ クリニカルパスの推進
- ・ アンギオ室における配置職員の増加
- ・ 委託会社への業務移管（立哨当番など）や新規導入（CS セット）

【看護職員の負担軽減】

- ・ 妊娠、育児、介護中職員の夜勤配慮
- ・ 日勤部署より夜勤応援
- ・ 組織再編に伴う業務の専門分化（内視鏡・アンギオ・がん治療）
- ・ 電子カルテ入力業務の見直し

【処遇改善】

- ・ 特別休暇の充実（非常勤職員に夏期休暇付与）
- ・ 連続当直を行わない勤務体制（医師）
- ・ 就業時間内の患者家族への説明
- ・ 医師の確保（内科医、救急医等）、短時間勤務医師の採用